

地域の子どもは地域で育む！

活動の名称 サマー・ウィンタースクール

団体等の名称 総合型地域スポーツクラブ「とまこまい・あそび塾」

活動に含まれる（連携している）団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
その他（ ）

活動の概要

活動の目的・趣旨

総合型地域スポーツクラブと北海道家庭教育サポート企業である島崎建設株式会社を中心に、教育委員会や学校、地元の企業や保護者が連携し、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図る事業を実施するとともに、地域の子育て環境づくりを促進する。

主な活動内容

長期休業中の3日間程度、地域の小学校を主な会場として、次のプログラムを組み合わせた体験事業を実施している。

「学習プログラム」～学習習慣の定着を図る

クラブ関係者や地域住民、時には大学生のボランティアが、子どもたちの宿題や自主学習（自由研究や作品づくりを含む）をサポートしている。

「運動プログラム」～健康増進や運動能力の向上、日頃の運動習慣の定着を図る

総合型地域スポーツクラブの特性を活かして、子どもたちが相互に交流し、楽しみながら参加できるニュースポーツの体験機会を設けている。

「社会体験活動プログラム」～子どもたちの社会性を育む

地域の浴場組合の協力のもと、銭湯におけるマナーを学ぶ「浴育（よくいく）事業」や、体験活動の会場まで、子どもたちが自力で公共交通機関を使い移動する体験などを取り入れている。

活動の成果と今後の展望

子どもたちは、日常と異なる環境で学習や運動に楽しみながら参加し、互いに刺激しあうことにより、生活リズムを整えることについての意識が高まっている。また、毎年、地域住民を対象としてアンケートを実施し、事業改善に努めていることから、住民の事業に対する認知度が高まり、地域企業や保護者などの連携・協力の輪が広がるなど、地域の恒例行事として定着している。

今後は、主な会場となる小学校を年度ごとに変更するなどして、より多くの子どもたちに体験機会を提供し、市全体に取組を広げるよう努める。



